

第2次検討ダムについて 先行河川：オッカバケ川

林野庁北海道森林管理局
根釧東部森林管理署

2016(平成28)年度までの議論経過

- ① 改良が必要な林野庁のダム2基のうち、上流側の2号ダムを改良した後、1号ダムを改良する。
(2号ダムはスリット化)
- ② 漁業及び希少猛禽類関係への配慮のため工事前仮設道を作設せず、重機を使用しない施工を行う。(人力施工)
- ③ 工事を実施するにあたり、地元の合意形成が必要。(地域住民、漁業関係者等)



2016(H28)年度第2回河川AP会議以降の経過報告

平成29年1月31日

○2016(H28)年度第2回河川AP会議



平成29年3月23日

○治山施設改良説明会を開催(会場:羅臼漁業協同組合):出席者7名

・ 知床でこれまで取り組んできた河川工作物改良(5河川)の事例と成果の説明や、知床以外の地域での河川工作物改良の取組等を紹介した後、オッカバケ川の治山施設改良の目的、工法等について説明する。

・出席者から工事の実施について理解を得る。

(出席者からの主な意見)

- ・下流の状況を確認しながら徐々に人力で切り下げる工法であり、支持する。
- ・漁業への影響(濁水関係)について配慮してほしい。
- ・防災面に影響が出ないように配慮してほしい。



平成29年4月21日

○オッカバケ川に一番近い第4町内会から、工事の実施について承諾を得る。



平成29年6月29日

○工事請負契約締結

工事スケジュールについて

2017 (H29)年度

- 改良工事（1年目：切下高0.8m程度）を予定（※現場作業9月～1月）

2018 (H30)年度

- 改良工事（2年目：切下高1.6m程度）を予定（※現場作業5月～1月）
- 上下流の現況確認のための河川測量を実施（融雪後及び11月頃に実施）

2019 (H31)年度

- 改良工事（3年目：切下高1.6m程度）を予定（※現場作業5月～1月）
- 上下流の現況確認のため河川測量を実施（融雪後及び11月頃に実施）
（※切下げが完了しない場合、H32年度も継続工事及び河川測量を実施）

2020(H32)年度～

- 2号ダムの切下げが完了後、改良結果を検証し、1号治山ダムの改良工事の設計を検討

※各年度毎に、改良工事の効果や上下流への影響等を確認し、次年度の発注内容及び規模等
を検討する。

仮締切工の施工方法について(スリット端部鋼材の一時撤去・再設置)

- ・仮締切工は、人力による土嚢設置によって行う。
- ・切下げが下部段階まで進むと、流水がスリット部(幅10m)に集中し水の流れが強くなるため、仮締切作業が困難になる可能性が想定される。
- ・余裕を持った仮水路幅を確保するために、両側端部鋼材(壁材:2m×2)もスリット部と併せて取り外すことで14m(スリット幅10m+端部鋼材幅4m)の流路幅を確保して、仮締切作業を安全かつ効率的に行う。
- ・両側端部鋼材は再設置する。(土砂の流出状況を踏まえ、上方から徐々に設置)

端部鋼材の一時撤去イメージ図(青色部)

